

福 議 委 号
令和6年11月 日

福島町議会議長 溝部 幸基 様

総務教育常任委員会
委員長 藤山 大

所管事務調査報告書の提出について

令和6年9月18日福島町議会定例会9月会議において決定した、休会中の所管事務調査を終えたので、会議条例第148条の規定により、下記のとおり報告する。

記

調査事件	6 第6次福島町総合計画の変更について	
調査期間	令和6年10月28日	
出席委員	委員長 藤山 大 委員 杉村 志朗 委員 平野 隆雄	副委員長 熊野 茂夫 委員 木村 隆
委員外議員	議員 佐藤 孝男 議員 平沼 昌平	議員 小鹿 昭義
出席説明員	副町長 小鹿 一彦 総務課長 小鹿 浩二 教育委員会事務局長 石川 秀二	教育長 小野寺則之 企画課長 村田 洋臣 企画係長 福井 理央
議会事務局職員	事務局長 鍋谷 浩行 会計年度職員 熊谷 治子	係長 山下 貴義

[委員会意見]

調査事件 6 第 6 次福島町総合計画の変更について（令和 6 年 10 月 28 日調査）

定例会 9 月会議において議決された第 6 次総合計画「前期実施計画」について、町が行った令和 6 年度ローリング作業に伴い、事業内容に変更が生じたことから、変更内容等を調査したものであり、調査結果を報告する。

【論点とした調査項目・意見】

ローリングに伴う第 6 次総合計画の変更内容等については一定の理解をしたが、次の事項について検討されたい。

1 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震における津波避難緊急事業

令和 7 年度までに津波避難対策計画を策定するとしているが、避難行動を取るためには情報伝達が重要であり、町内には依然として改善されず防災無線が入りづらい地域があることから、新たな方法（携帯電話の電波を利用する等）による情報発信について計画に盛り込むことも必要と思慮するので検討されたい。

津波避難対策の課題として、避難経路の選定と避難路の整備・維持管理、避難先となる高台の整備等があり、常時維持管理していくことは人的体制・経費負担的に容易ではないことから、既存の施設（林道）の活用や、新たな林道の整備なども課題解決に有効であると思慮するので検討されたい。

2 町有財産管理事業

福島生活改善センターの解体が計画されており、解体後の跡地利用として災害時の避難場所等に利用することの検討には同意する。

具体的な検討の際には、新たな防災施設の建設ではなく、非常用物資を保管するコンテナ等を配置した小公園など地域住民が日常的に利用できる場として整備することも検討されたい。